

Maxwell[®] RSC Buccal Swab DNA Kit (カタログ番号 AS1640) 簡易マニュアル

ご用意いただくもの

- ピペットマン (P-20、P-200、P-1000)とそれらのチップ
- ボルテックスミキサー
- ClickFit Microtube, 1.5ml (カタログ番号 V4741)
- 56℃に設定したヒーティングブロック
- 微量高速遠心機 [14,000×g程度が可能な機種]

スワブサンプルの準備

1. スワブで拭って、サンプルを回収する
2. ClickFit Microtubeに、Clearing Columnをセットする。
3. スワブの棒部分を折って、取り除く。乾燥したスワブ部分をClearing Column内に置く。
4. 別のチューブに、1サンプルあたり、300μL Lysis Buffer + 30μL Proteinase K (PK) Solutionのプレミックスを準備する。
5. 330μL Lysis Buffer/Proteinase K Solutionをスワブが入ったClearing Columnに加える。
※ ClickFit Microtube以外は、チューブのフタが閉まらない場合があります。
6. 56℃で20分間のインキュベーションを行う。
※ 少量の液体がClickFit Microtubeに流れ込みますが、これは通常のことであり、異常ではありません。
7. このClearing ColumnとClickFit Microtubeを最高速度 (14,000×g程度)で、2分間の遠心を行う。
8. Clearing Columnとスワブは廃棄する。

次ページの『カートリッジの準備』に進む。

カートリッジの準備

1. 検体数分のカートリッジをMaxwell® RSC/CSC Deck Trayに立て、順にそのアルミシールを剥がす。
カートリッジの両端がカチッというまで、しっかりとセットする

2. 同数のElution Tubeをセットし、50µlのElution Bufferを加える。
Elution Tubeのフタは絶対に閉めないでください。

3. カートリッジのウエル8に、プランジャーを置く。

4. 遠心操作により、ClickFit Microtubeに回収した液体をカートリッジのウエル#1に移す。

ウエル1は最も大きなウエルです。カートリッジラベルに一番近く、Elution tubeからは最も遠い位置にあります。



5. 【オプション】RNAを除きたい場合、ウエル#3に5µL RNase A Solution (カタログ番号 A7973)を加える。

6. Maxwell RSC Instrumentを起動し、STARTに続いて、『Buccal Swab DNA/AS1640』を選択する。

7. Maxwell® RSC/CSC Deck Trayを、Maxwell® RSC本体にセットし、精製操作をスタートする。

精製終了後の操作

1. Maxwell RSC® Instrumentのドアを開け、Elution Tubeのフタを閉める。

2. Maxwell® RSC/CSC Deck Trayを取り出し、Elution Tubeを適切に保管する。

3. Maxwell RSC® Instrumentのドアを閉める。カートリッジとプランジャーを廃棄する。

4. Maxwell® RSC/CSC Deck TrayをMaxwell® RSC Instrument本体にセットし、精製操作をスタート。